

A Study of Free will in John Milton's *Paradise Lost*

ジョン・ミルトン『失樂園』における自由意志の考察

狙いと予備知識

論文の狙い・・・自由意志 Free will の性質と作品における重要性の考察

予備知識

知恵の実：

死をもたらすので神から食べるのを止められている

人類（アダムとイヴ）の墮落：

墮天使サタンに騙されてイヴが実を食べ、それを知ったアダムも共に死を背負うために食べてしまう

神に反する自由意志の行使の結果

結果に満足できず悩み、後悔してしまう

(神に反する自由意志の行使)

サタン：神に叛逆し墮天

イヴ：知恵の実を食べる

アダム：イヴと死ぬ為に実を食べる

(満足できない結果)

→ 虚勢と悔い改めの心との葛藤

→ アダムだけ生き残る未来を拒否し、彼を道連れに

→ 良心の咎め／イヴが責任転嫁

運命観と信仰心との関係性

①神 \leq 運命 パターン (アダム、イヴ、サタン)

→神への不信が表れる

②神 $>$ 運命 パターン (神側の天使、キリスト)

→神の意志を尊重した自由意志の行使

①と②を比較

→信仰心が希薄な①は自由意志行使後の結果に悩まされる

おわりに

作者の意図

- ・ 運命任せではなく自由意志で決断し行動する重要性
- ・ 自由意志行使には神への信仰が重要

学び取れること

神の意志・・・理性に注意を払い自由意志を行使する

道徳心や良心を重んじた行動に努めよう